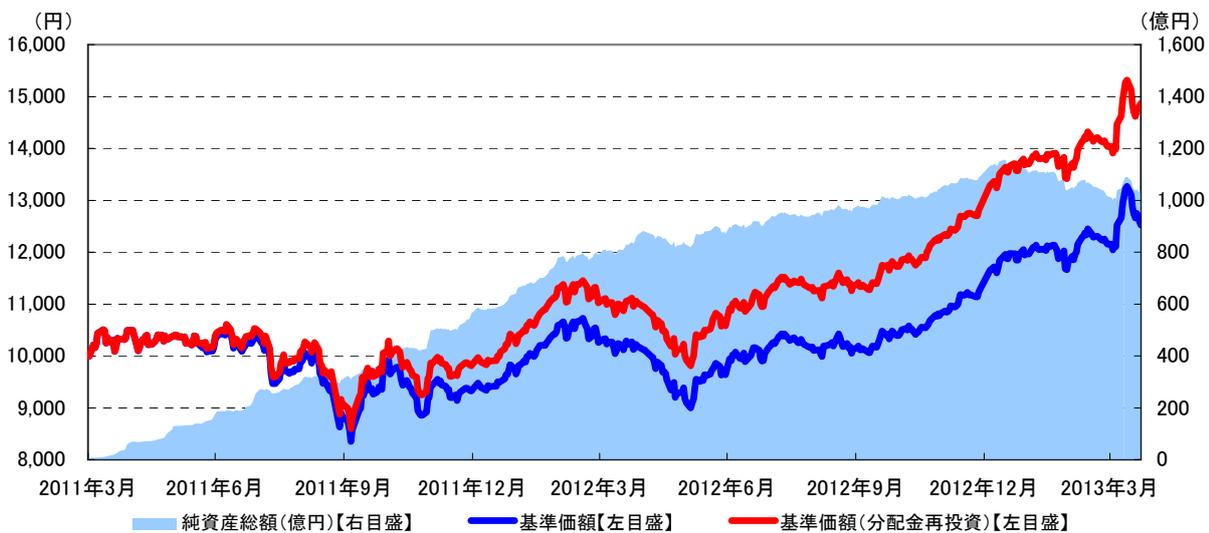


**PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)
第23期分配金のお知らせ**

追加型投信／海外／債券

平素は「PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さてこの度、PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)では、基準価額の上昇等に鑑み、4月22日の第23期決算で、350円(1万口当たり、税引前)の分配金をお支払いすることといたしましたので、ご報告申し上げます。
設定来の分配金累計は、1,810円(1万口当たり、税引前)となっております。
分配金を上乘せしてお支払いする背景や運用状況につきましては、2ページ以降のQ&Aをご参照のほどお願い申し上げます。

基準価額の推移 (期間:2011年3月31日～2013年4月22日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7325%(税抜1.65%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前)(第1期～第23期)

| | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 第1期 2011年6月 | 第2期 2011年7月 | 第3期 2011年8月 | 第4期 2011年9月 | 第5期 2011年10月 | 第6期 2011年11月 | 第7期 2011年12月 | 第8期 2012年1月 | 第9期 2012年2月 | 第10期 2012年3月 |
| 70円 | 70円 | 70円 | 70円 |
| 第11期 2012年4月 | 第12期 2012年5月 | 第13期 2012年6月 | 第14期 2012年7月 | 第15期 2012年8月 | 第16期 2012年9月 | 第17期 2012年10月 | 第18期 2012年11月 | 第19期 2012年12月 | 第20期 2013年1月 |
| 70円 | 70円 | 50円 | 50円 |
| 第21期 2013年2月 | 第22期 2013年3月 | 第23期 2013年4月 | | | | | | | |
| 50円 | 50円 | 350円 | | | | | | | |

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- ・分配金は、1万口当たりです。
- ・上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)
Q1 なぜ今回、分配金を上乗せして支払うこととしたのですか？
A. 基準価額の上昇分を、受益者の皆様に還元するためです。

ファンド設定以来の基準価額は、世界的な低金利の環境下、先進国と比べて利回り水準の高い新興国債券が総じて選好されてきたことに加え、豪ドルが底堅く推移してきたことなどから、堅調に推移してきました。また、最近では、2013年4月の日銀金融政策決定会合で黒田新総裁が大胆な金融緩和策を打ち出したことから為替市場では円安豪ドル高が進行、基準価額は一段と上昇しています。このような状況を鑑み、円安の進行と債券価格の値上がりによる基準価額の上昇分を受益者の皆様に還元するため、基準価額水準、市況動向等を総合的に勘案のうえ、今般、分配金を上乗せしてお支払いすることといたしました。

新興国債券(米ドルベース)

為替レート(円/豪ドル)の推移


- ・上記グラフは指数の値を使用しており、ファンドの運用実績とは異なります。指数については、【当資料で使用している指数について】をご覧ください。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

【当資料で使用している指数について】
■JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・本見通し分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)

Q2 今後の投資環境見通しと運用方針について教えてください。

【投資環境見通し】

今後も先進国と新興国の間で、経済成長のスピードが異なる状態が続くと見えています。すなわち先進国は、政府の高い債務水準や長期間にわたる失業率の高止まりといった構造問題が重石となり経済成長は低位にとどまると見えています。足下では、各国中央銀行による積極的な金融緩和策を背景にリスク性資産が堅調に推移する傾向が継続しているものの、キプロスやイタリアを契機に欧州債務問題に対する緊張感がやや高まっていることなどから、世界経済の見通しは資産価格の上昇が示すほど明るくはなく、引き続き慎重な投資姿勢が必要になると考えます。また、「過剰債務と成長力不足」という構造問題を抱える中で、欧州問題への抜本的な解決にはなお時間を要すると予想しています。

一方で、新興国では中間・富裕層の増加を通じた国内の消費市場の拡大を背景に、相対的に高い経済成長が見込めます。加えて、財政状態が相対的に健全であることや政策金利の水準が相対的に高いことを考慮すると、財政および金融政策による景気刺激策を発動する余地が残されており、今後の経済的なショックに対する耐性は先進国と比較して強いと考えられます。なお、新興国の選別においては、経済・政治状況や外部環境が大きく異なることから、各国の財政基盤などファンダメンタルズの分析に軸を置いた投資対象国の選別が一層重要になると考えています。

【運用方針】

このような市場環境の下、当ファンドでは、財政状態の改善が続き、潤沢な外貨準備高を有するブラジルやロシアといった国々に対して積極姿勢とするとともに、ファンダメンタルズが脆弱で、かつ対外資金への依存度が高いハンガリーやウクライナなどは、外部環境からの影響を受けやすい点も考慮し、消極姿勢として、運用を行ってまいります。

【為替の見通し】

欧米の金融当局による一連の対応により、世界経済の底割れリスクが回避されておりますが、先進国が抱える構造問題は残存しており、ひとたびリスク要因に市場参加者の焦点が集まれば、一時的に円高に振れる場面がありえます。しかしながら、安倍政権が長引くデフレと円高からの脱却をめざすいわゆるアベノミクスを積極的に推進することを考えると、当面、現在の円安局面が持続する可能性が高いと予想しています。

Q3 今後も、分配金が上乗せして支払われることはあるのですか？

A. 基準価額の水準等を勘案のうえ、分配金を上乗せしてお支払いする可能性があります。

今後も為替の動向を注視しつつ、基準価額の水準等を勘案して、分配金を上乗せしてお支払いする可能性があります。

なお、分配金額は、ファンドの分配方針に基づき委託会社が決定しますが、将来の分配金額につきましては、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。今後の運用状況や市況動向等によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

今後とも引き続き、『PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)』をご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

・本見通しないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

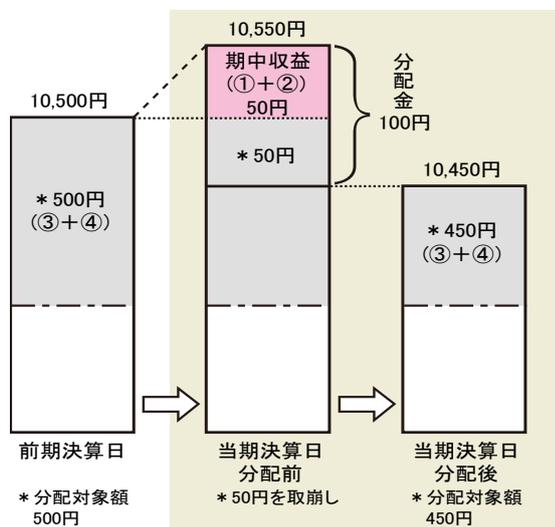


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

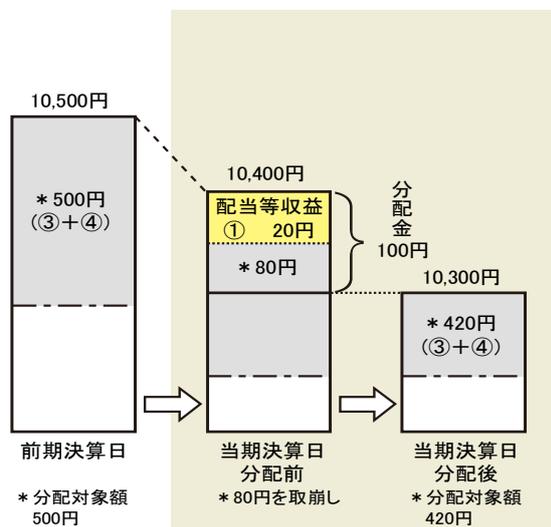
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



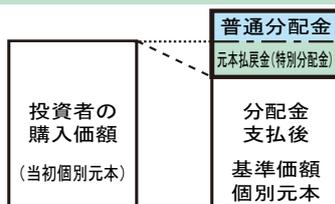
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

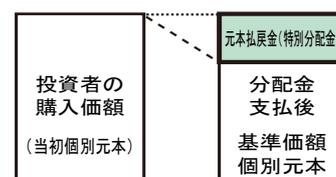
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

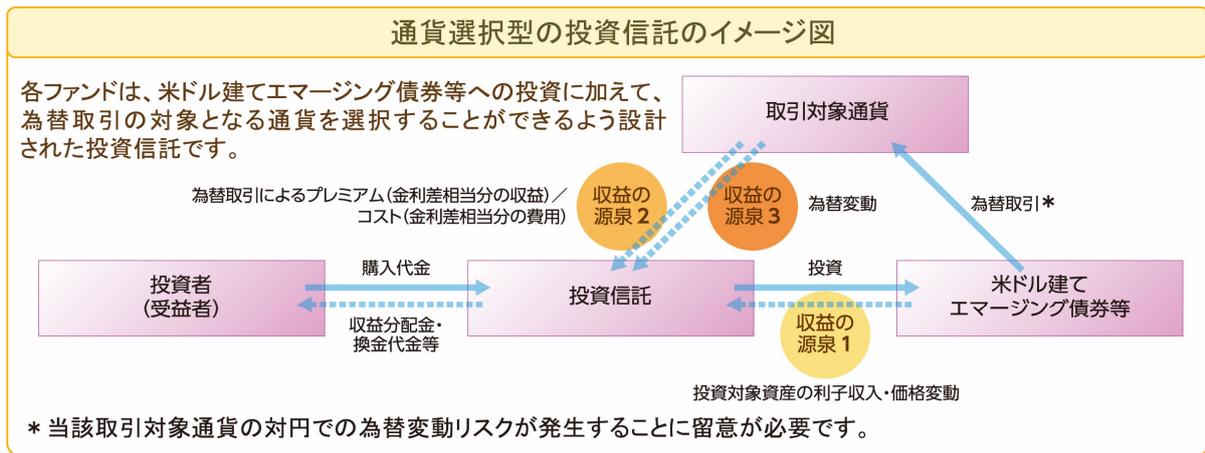


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

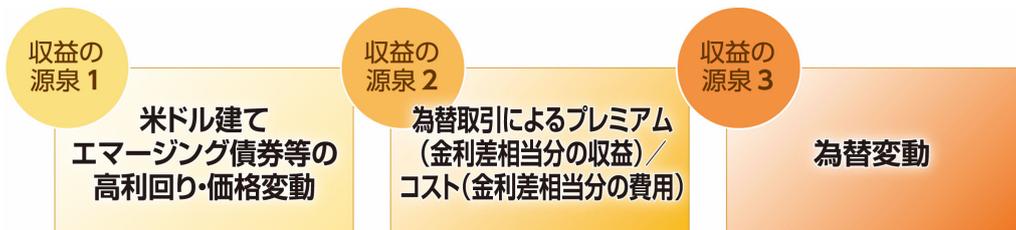
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



PIMCO ニューワールドインカムファンド
ファンドの目的・特色
■ファンドの目的

米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

PIMCO ニューワールドインカムファンドは、以下の6本のファンドで構成される投資信託です。

＜豪ドルコース＞（毎月分配型） / ＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型） / ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）
 ＜豪ドルコース＞（年2回分配型） / ＜ブラジルリアルコース＞（年2回分配型） / ＜メキシコペソコース＞（年2回分配型）

・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券（新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券（ソブリン債券、準ソブリン債券））に実質的な投資を行います。また、エマージング債券と同様の投資効果を持つ派生商品を活用する場合があります。証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド（わが国の短期公社債等に投資）への投資も行います。（ファンド・オブ・ファンズ方式）

・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

・投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

・各ファンドが投資を行う外国投資信託においては、米ドル建てを中心としたエマージング債券等に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行います。これにより、「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）/コスト（金利差相当分の費用）」、「為替差益/差損」が生じます。

* 為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF（ノン・デリバラブル・フォワード）取引」を利用する場合があります。

・豪ドルコース（毎月分配型）、ブラジルリアルコース（毎月分配型）、メキシコペソコース（毎月分配型）は毎月の決算時（20日（休業日の場合は翌営業日））に、豪ドルコース（年2回分配型）、ブラジルリアルコース（年2回分配型）、メキシコペソコース（年2回分配型）は年2回の決算時（6・12月の各20日（休業日の場合は翌営業日））に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

* メキシコペソコース（毎月分配型）の初回決算日は2013年4月22日です。豪ドルコース（年2回分配型）、ブラジルリアルコース（年2回分配型）、メキシコペソコース（年2回分配型）の初回決算日は2013年6月20日です。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。なお、販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

＜主な投資制限＞

・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。

・外貨建資産への直接投資は行いません。

投資リスク
■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。（次ページに続きます。）

市場リスク
（価格変動リスク）

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

（為替変動リスク）

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。》

委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ投信株式会社

受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社（購入・換金の取扱い等）

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 … 三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

PIMCO ニューワールドインカムファンド
投資リスク
カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

手続・手数料等
■お申込みメモ

| | |
|--------------------|---|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。 |
| 購入代金 | 販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。 |
| 申込不可日 | ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月21日、2月18日、3月29日、5月27日、7月4日、9月2日、11月11日、11月28日、12月25日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。 |
| 換金制限 | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 |
| 信託期間 | 豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型） 2016年6月20日まで（2011年3月31日設定） メキシコペソコース（毎月分配型） 2016年6月20日まで（2013年1月16日設定） 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型） 2016年6月20日まで（2013年2月20日設定） |
| 繰上償還 | 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 |
| 決算日 | 豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型）／メキシコペソコース（毎月分配型） 毎月20日（休業日の場合は翌営業日） ※メキシコペソコース（毎月分配型）の第1回目の決算日は2013年4月22日 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型） 毎年6・12月の各20日（休業日の場合は翌営業日） ※第1回目の決算日は2013年6月20日 |
| 収益分配 | 豪ドルコース／ブラジルリアルコース／メキシコペソコースの毎月分配型：毎月の決算時に分配を行います。 豪ドルコース／ブラジルリアルコース／メキシコペソコースの年2回分配型：年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 |
| 課税関係 | 課税上、株式投資信託として取り扱われます。 |

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用

| | |
|---------|--|
| 購入時 | |
| 購入時手数料 | 購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。 |
| 換金時 | |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|---------------|---|
| 保有期間中 | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 純資産総額 × 年1.7325% (税抜 年1.65%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。 |
| その他の費用・手数料 | 売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%(税込)の例～
 例えば、基準価額10,000円(1万円当たり)の時に100万円ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万円) × 100万円 × 3.15% = 31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくこととなります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入しておりません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
 フリーダイヤル  **0120-151034**
 受付時間 / 9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>
 <モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



